

iPad (GIGA 端末) 活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属小学校：指導者：栢野 慈子

学年	教科・領域等	単元名・題材名等
4	音楽	音階をつかって

1. iPad 活用のポイント

(1) 本時の目標

音階の雰囲気を表す音やフレーズのつなげ方に気付くことができる。

(2) 活用アプリ

ロイロノート

(3) GIGA 端末以外で利用した機器

なし

(4) アプリの活用場面と目的

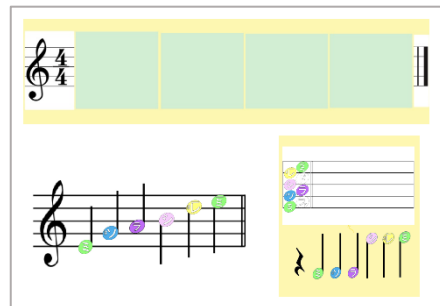
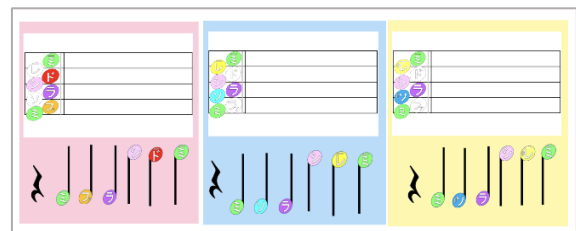
オンライン  オフライン

授業での活用場面（授業概要）

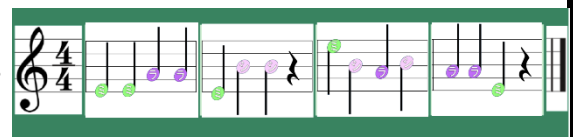
本題材は、音階の構成音を使って、ペアで相談しながら思いに合う旋律をつくる学習である。消えてしまう音を視覚的に捉えたり、つくった旋律を再度演奏したりすることができるように、楽譜に残すことにした。4年生の発達段階では自力で記譜することが難しいため、ロイロノート上に音符を動かして並べられるワークシート作成した。それをを用いることで、音のつなげ方を視覚的に捉えて意見を交わしたり、旋律をつくり変えたりすることができるようにした。また、音階の構成音に色を付け、使用できる音とできない音が分かるようにした。

2. iPad 活用の画面例（写真等）

3つの音階の中から選んだ音階のワークシートを配付した。構成音のみを配付することで、正確に構成音を使って旋律をつくることができた。簡単に複製したり音符の位置を変えたりすることができるため、友達と話し合いながら、試行錯誤して旋律をつくる姿が見られた。



構成音の中で、特に音階のポイントになる音に気付くことができるようにするための例示では、聴こえた旋律の雰囲気と使われている音を関連付けながら話し合った。その際も、簡単に複製し作り変えることができるため、全体で音を変えて試しながらポイントとなる音について共通認識をもつことができた。



### 3. 効果と課題

#### (1) iPad (アプリ) を活用して効果的だった点

一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input checked="" type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input checked="" type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input checked="" type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input checked="" type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input checked="" type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

- ・記譜することが難しい発達段階での、音を見える形で残すための技能面ができたこと。
- ・作成したものが残しておけるため、比較しながら作り変えていくことができたこと。
- ・聴覚・視覚の両方で捉え、旋律の音の動きや、使用している音についてペアで話し合うことができたこと。

#### (2) iPad (アプリ) を活用して課題に感じた点

一斉学習	<input type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input checked="" type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input checked="" type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

- ・他のペアとの話し合いの際、視覚的に音の動きやポイントとなる構成音の位置や数からイメージがわいてしまうため、音を聴く時間が少なくなってしまった班があった。
- ・音符を置く位置のずれに対する支援。